



どうして支援が必要なの？

日本では、年間約2,500人の子供(0～14歳)が「がん」と診断されています。小児がんは症例数全体が少ないうえに希少な種類のがんが多く存在します。そのため、研究開発が遅れている状況にあります。また、徐々に治療環境の整備などが進められていますが、まだ十分とはいえません。さらに、がんを克服し復学・成長・大人になってもがんの治療による成長の遅れや身体的障害、不妊など問題を抱えている人が多いです。小児期に重要な成長期に治療をしなければならない事、就学や就労、恋愛、結婚など社会で自立するための支援を必要としており、大人のがんと異なる課題があります。

AYA世代のAYA(アヤ)とは、Adolescent and young Adult(思春期と若年成人)の略であり、一般的に15歳～39歳の世代を指します。AYA世代のがん患者は、治療中やその後の生活の中で、就学、就職、就労、恋愛、結婚、出産など人生のターニングポイントとなる様々な出来事と向き合う機会が想定され、高齢のがん患者とは異なるAYA世代特有の問題があると考えられています。

寄付は何に使われる？

CNJでの
小児がん支援

レモネード
スタンドジャパン
運営費

22歳以下のがん
患者さんへの
ウィッグプレゼント

小児がん治療
研究支援

キャンサーネットジャパン ～私たちの使命・夢～

Our Mission (私たちの使命)～私たちのミッション(使命)は、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう、患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信を行うことです。

Our Vision (私たちの夢)～私たちのヴィジョン(夢)は、がん体験者・家族・遺族、その支援者、医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会を実現することです。



NPO 法人キャンサーネットジャパン <https://www.cancernet.jp/>

〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水K&Kビル2F

TEL: 03-5840-6072 (平日9:00～18:00) FAX: 03-5840-6073

MAIL: info@cancernet.jp